第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」策定に係る
障がい者・家族アンケート

1. 調査の目的

第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定にあたり、障がいのある人と日常生活をともにする家族の立場から、地域での暮らしや地域との関わりについて感じていることを把握するため、アンケート調査を実施した。

本調査では、制度やサービスだけでは把握しにくい日常生活上の経験や家族から見た地域の状況を捉え、第5期において、障がいの有無にかかわらず地域で自分らしく暮らすことのできる地域づくりを考えるための基礎資料とする。

2. 調査から見えてきたこと

家族からの回答からは、障がいのある人が地域で暮らすうえで、福祉サービスや専門的な支援だけでなく、日常的な人とのつながりや地域との接点が重要であることが見えてきた一方で、地域との関わりや社会参加、災害時の対応など、暮らしのさまざまな場面において不安や困難を感じていることもうかがえる。

また、家族の回答には、障がいのある本人を「支援を受ける人」として捉えるだけではなく、一人の地域住民として、地域の中でどのように暮らし、関わり、参加していくことができるかという視点が含まれている。

これらの結果は、第5期において、障がいのある人を含め、誰もが地域の一員として暮らすことのできる環境や、人とのつながりをどのようにつくっていくかを考えることの重要性を示している。

3. 調査概要

(1) 調査対象

登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（以下、障団連という）会員家族

(2) 調査期間

令和８年8月3日～令和８年8月21日

(3) 配布数・回答数・回収率

配布数：68件、回答数：33件、回収率：48.5%

(4) 調査方法

障団連加盟団体から会員への配布・回収

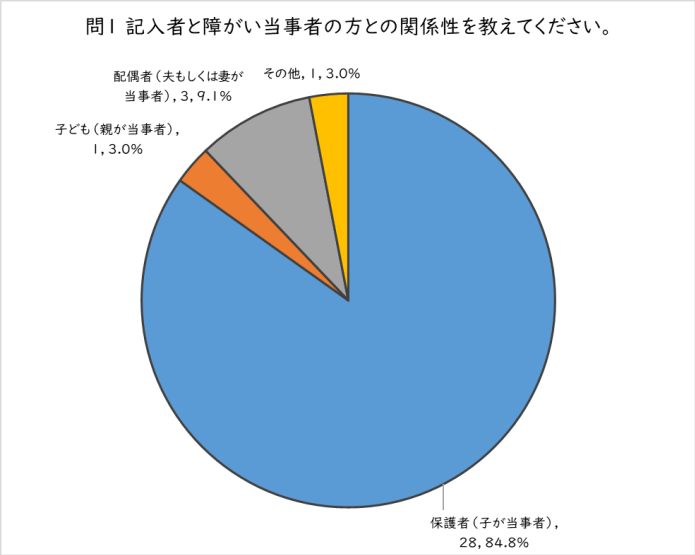
(5) 集計・分析方法

各設問について回答数及び割合を集計し、割合は設問ごとの有効回答数を分母として算出し、端数処理を行っている。必要に応じて回答者の属性等とのクロス集計を行い、回答傾向を整理した。

自由記載については、個人が特定されることのないよう配慮しながら内容を整理し、家族から寄せられた意見を可能な限り生かして掲載した。

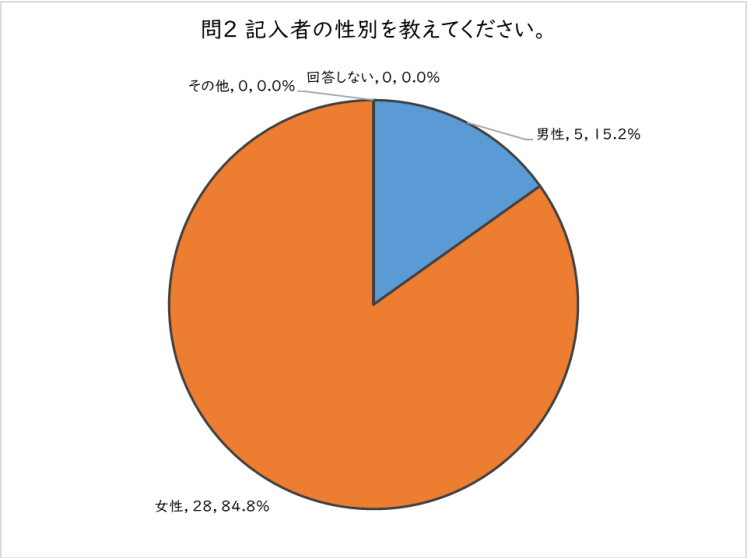
問1　記入者と障がい当事者の方との関係性を教えてください。（○は1つ）

選択肢・項目	回答数	割合
保護者（子が当事者）	28	84.8%
子ども（親が当事者）	1	3.0%
配偶者（夫もしくは妻が当事者）	3	9.1%
その他	1	3.0%



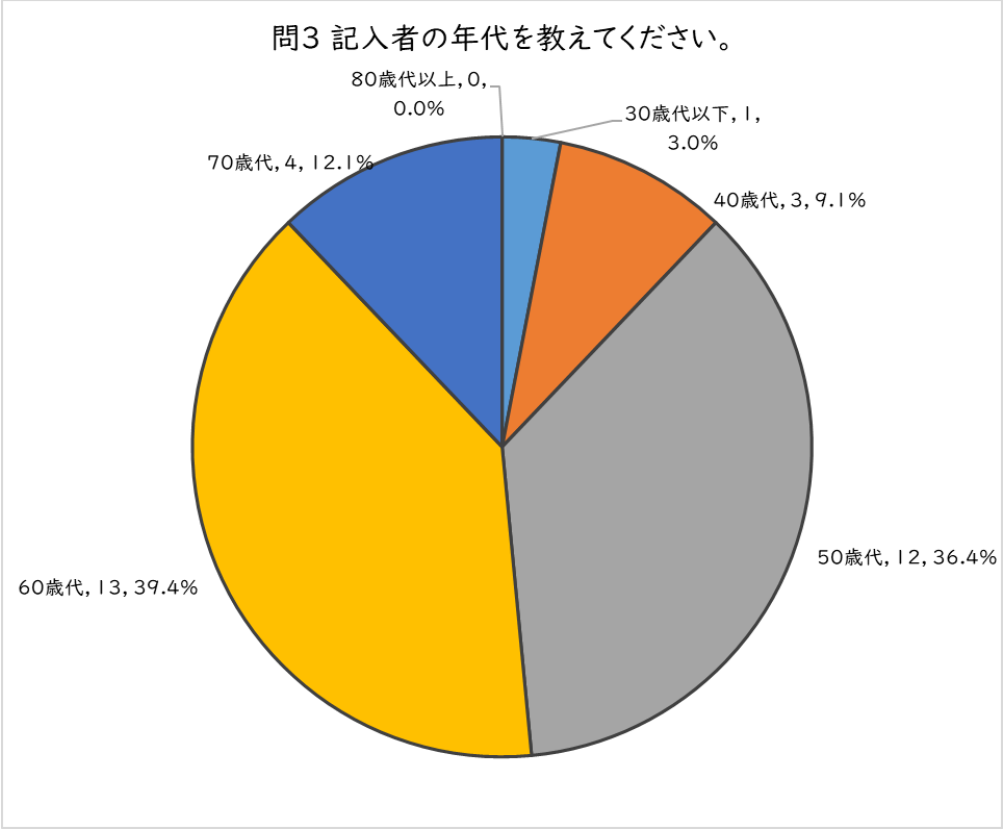
問2　記入者の性別を教えてください。（○は1つ）

選択肢・項目	回答数	割合
男性	5	15.2%
女性	28	84.8%
その他	0	0.0%
回答しない	0	0.0%



問3 記入者の年代を教えてください。（○は1つ）

選択肢・項目	回答数	割合
30歳代以下	1	3.0%
40歳代	3	9.1%
50歳代	12	36.4%
60歳代	13	39.4%
70歳代	4	12.1%
80歳代以上	0	0.0%



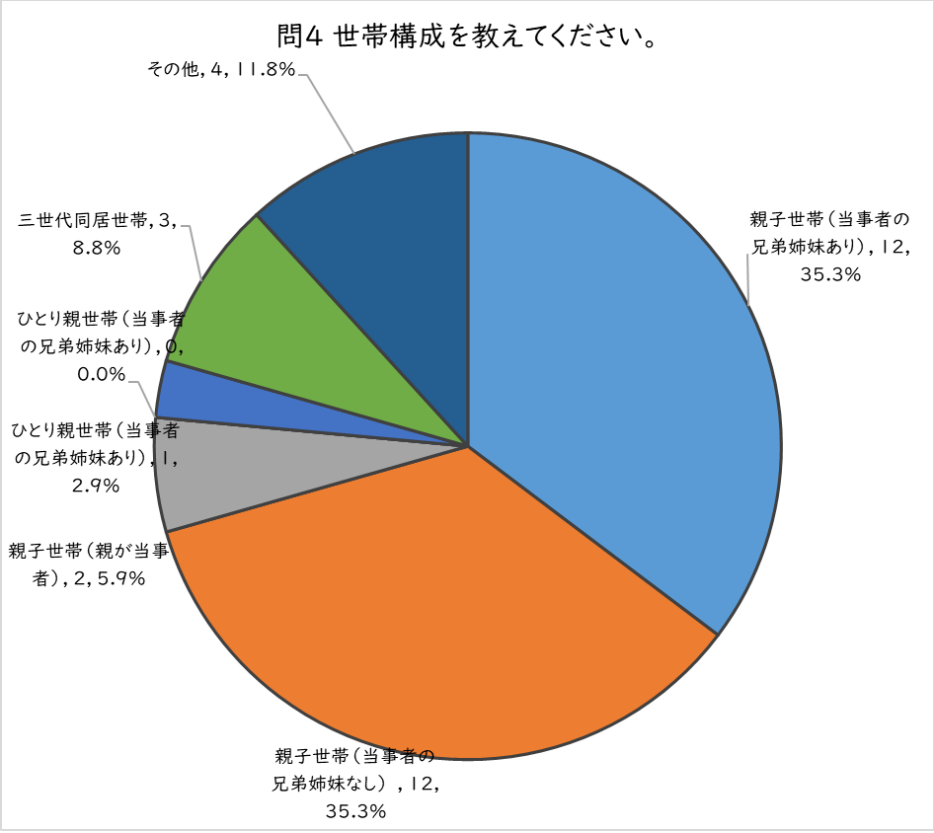
問4 世帯構成を教えてください。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
親子世帯(当事者の兄弟姉妹あり)	12	35.3%
親子世帯(当事者の兄弟姉妹なし)	12	35.3%
親子世帯(親が当事者)	2	5.9%
ひとり親世帯(当事者の兄弟姉妹あり)	0	0.0%
ひとり親世帯(当事者の兄弟姉妹あり)	1	2.9%
三世代同居世帯	3	8.8%
その他	4	11.8%

自由記載:

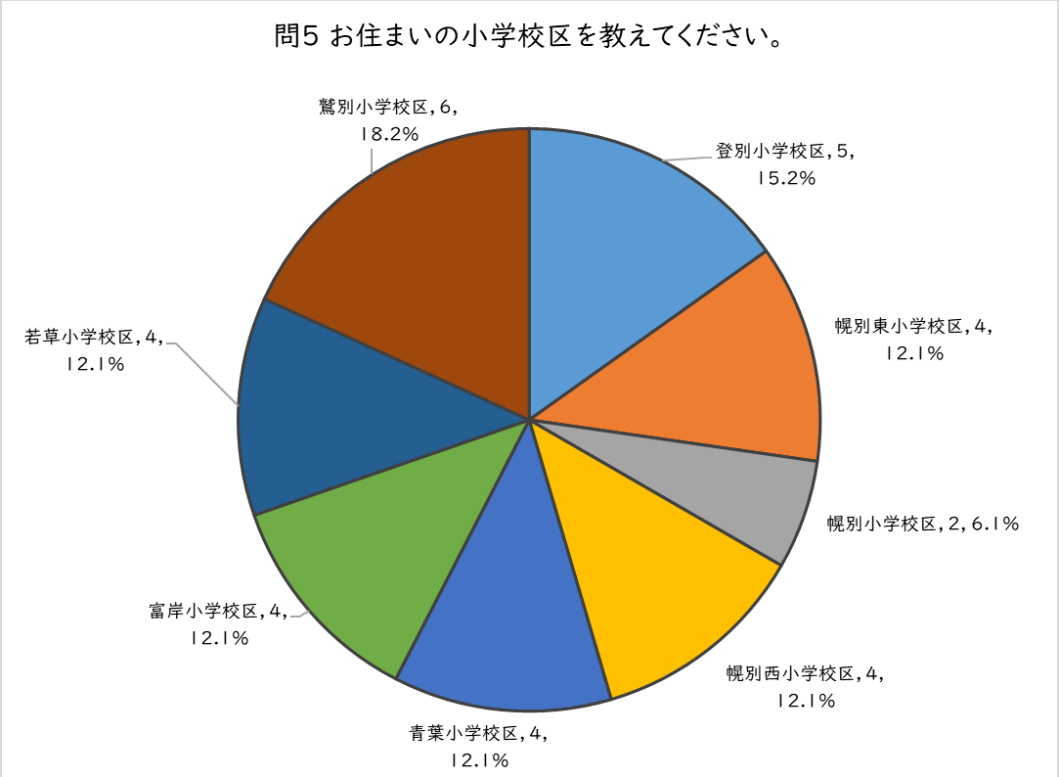
・緑町に高齢の母が独居している

・1、ひとり親と当事者のみの世帯



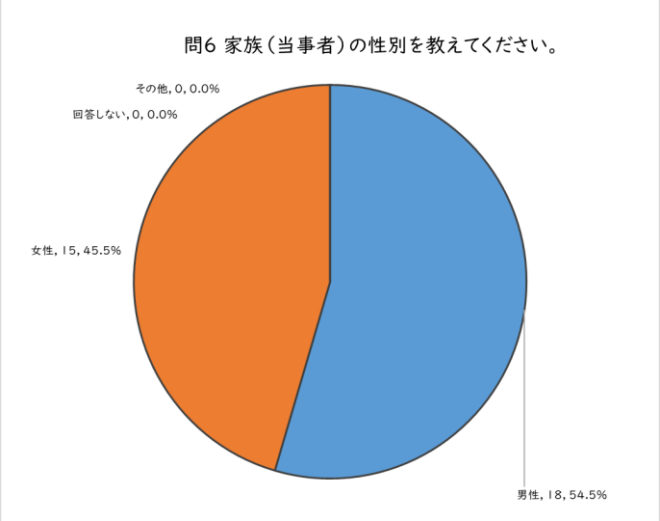
問5 お住まいの小学校区を教えてください。（〇は1つ）

選択肢･項目	回答数	割合
登別小学校区	5	15.2%
幌別東小学校区	4	12.1%
幌別小学校区	2	6.1%
幌別西小学校区	4	12.1%
青葉小学校区	4	12.1%
富岸小学校区	4	12.1%
若草小学校区	4	12.1%
鷲別小学校区	6	18.2%



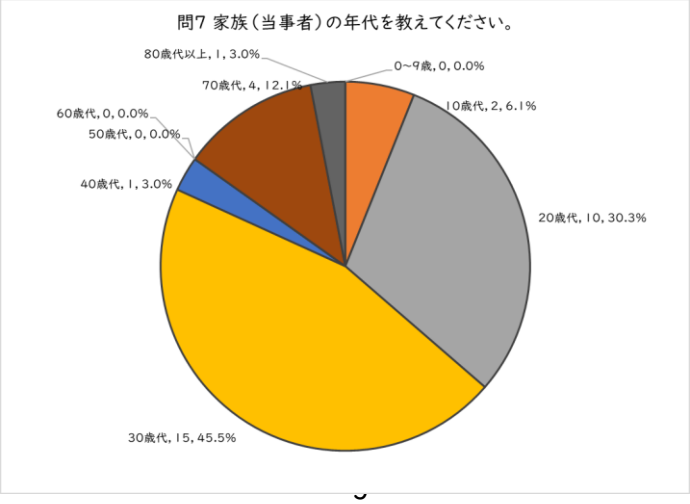
問6 性別を教えてください。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
男性	18	54.5%
女性	15	45.5%
その他	0	0.0%
回答しない	0	0.0%



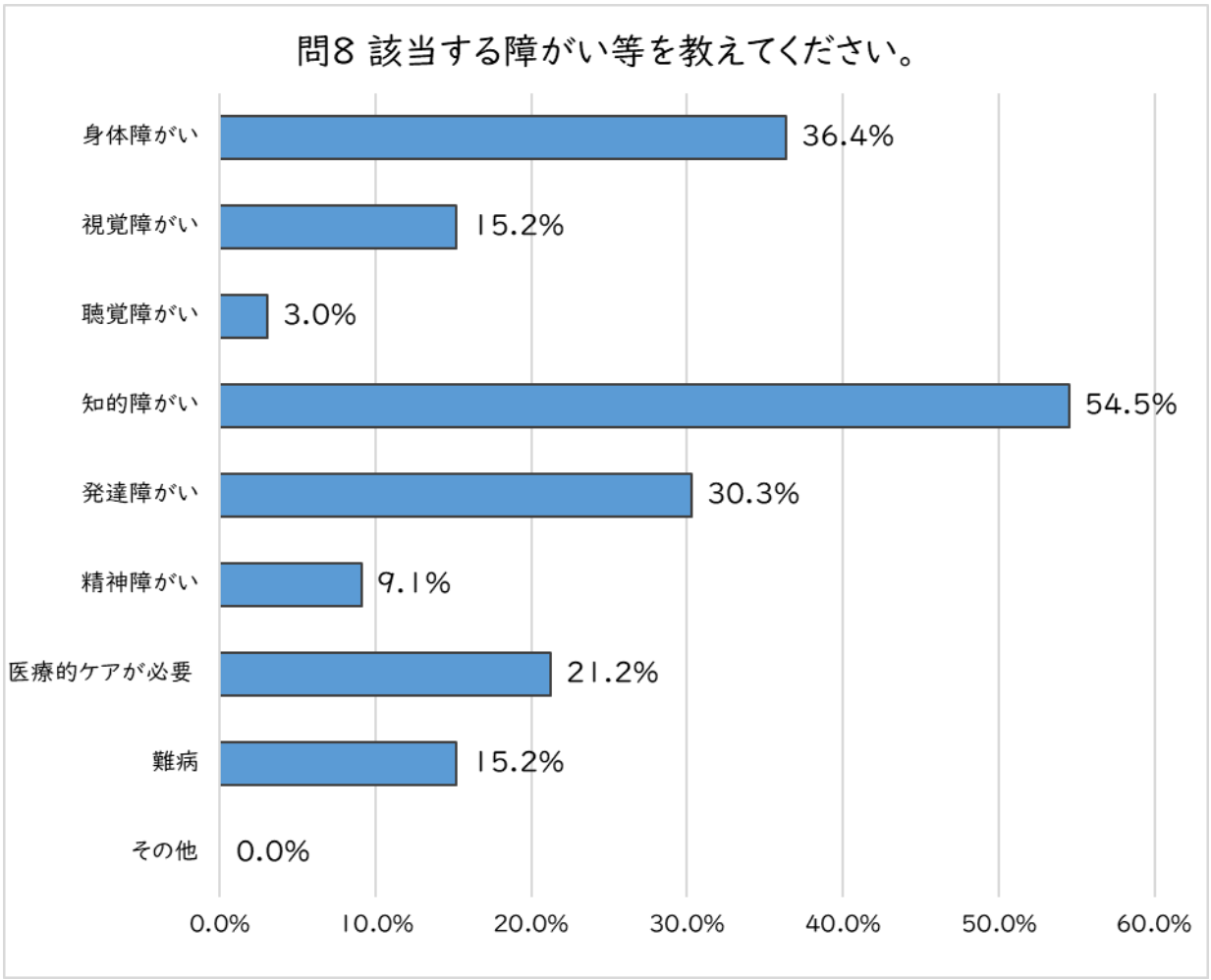
問7 年代を教えてください。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
0~9歳	0	0.0%
10歳代	2	6.1%
20歳代	10	30.3%
30歳代	15	45.5%
40歳代	1	3.0%
50歳代	0	0.0%
60歳代	0	0.0%
70歳代	4	12.1%
80歳代以上	1	3.0%



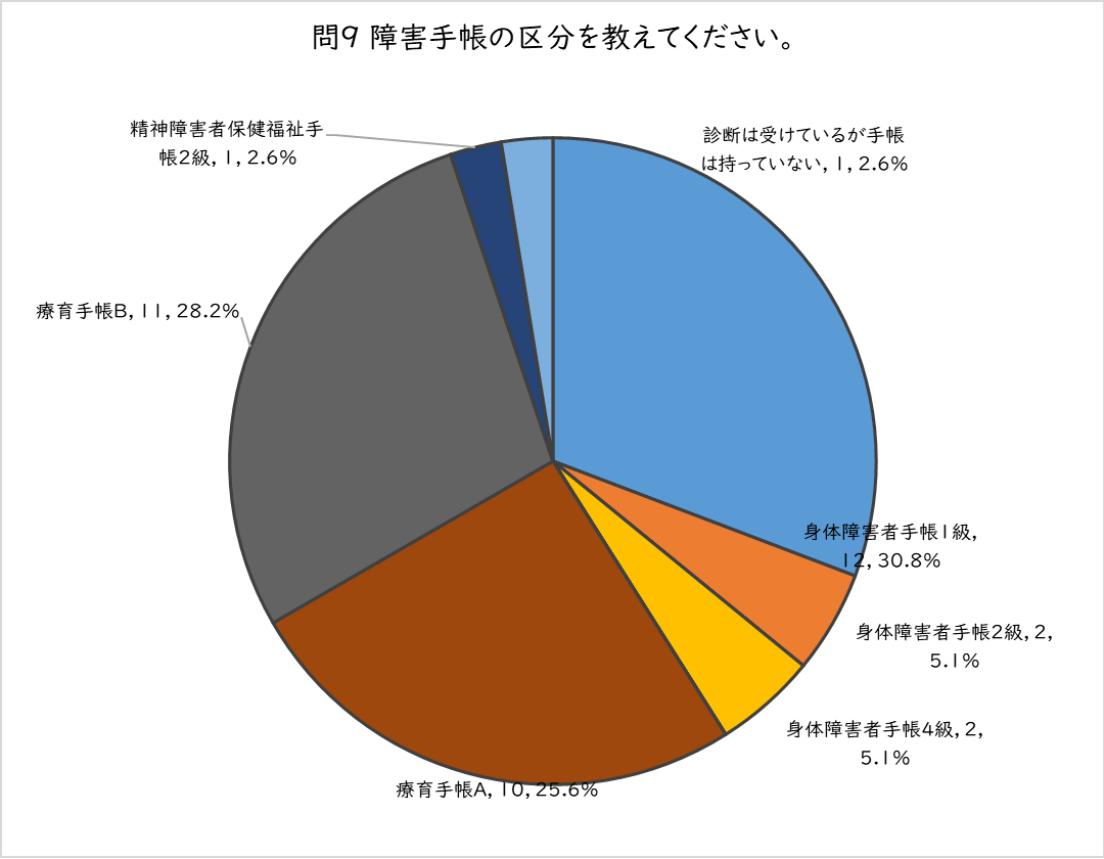
問8 該当する障がい等を教えてください。（〇はいくつでも）

選択肢・項目	回答数	割合
身体障がい	12	36.4%
視覚障がい	5	15.2%
聴覚障がい	1	3.0%
知的障がい	18	54.5%
発達障がい	10	30.3%
精神障がい	3	9.1%
医療的ケアが必要	7	21.2%
難病	5	15.2%
その他	0	0.0%



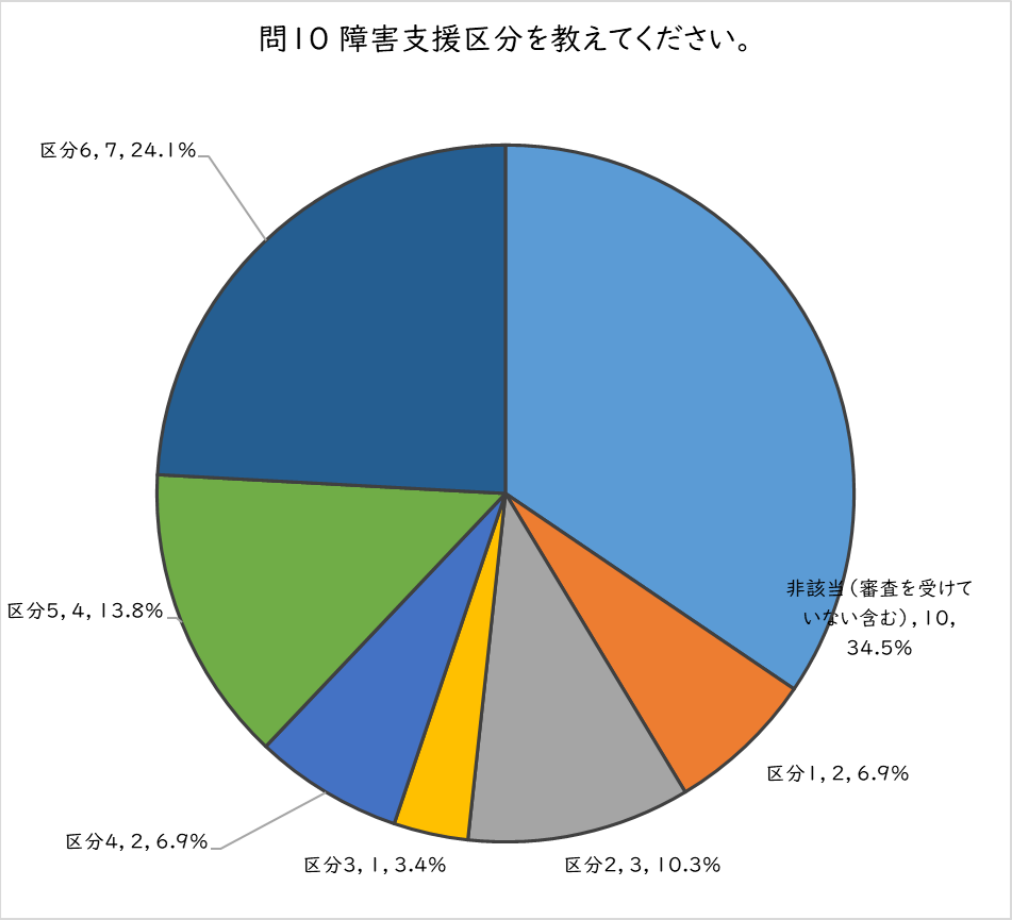
問9 障害手帳の区分を教えてください。(○はいくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
身体障害者手帳1級	12	36.4%
身体障害者手帳2級	2	6.1%
身体障害者手帳3級	0	0.0%
身体障害者手帳4級	2	6.1%
身体障害者手帳5級	0	0.0%
身体障害者手帳6級	0	0.0%
身体障害者手帳7級	0	0.0%
療育手帳A	10	30.3%
療育手帳B	11	33.3%
精神障害者保健福祉手帳1級	0	0.0%
精神障害者保健福祉手帳2級	1	3.0%
精神障害者保健福祉手帳3級	0	0.0%



問 10 障害支援区分を教えてください。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
非該当(審査を受けていない含む)	10	34.5%
区分1	2	6.9%
区分2	3	10.3%
区分3	1	3.4%
区分4	2	6.9%
区分5	4	13.8%
区分6	7	24.1%



問 11　当事者が週に3日以上または半日程度過ごしている場所はどこですか。(○はいくつでも)

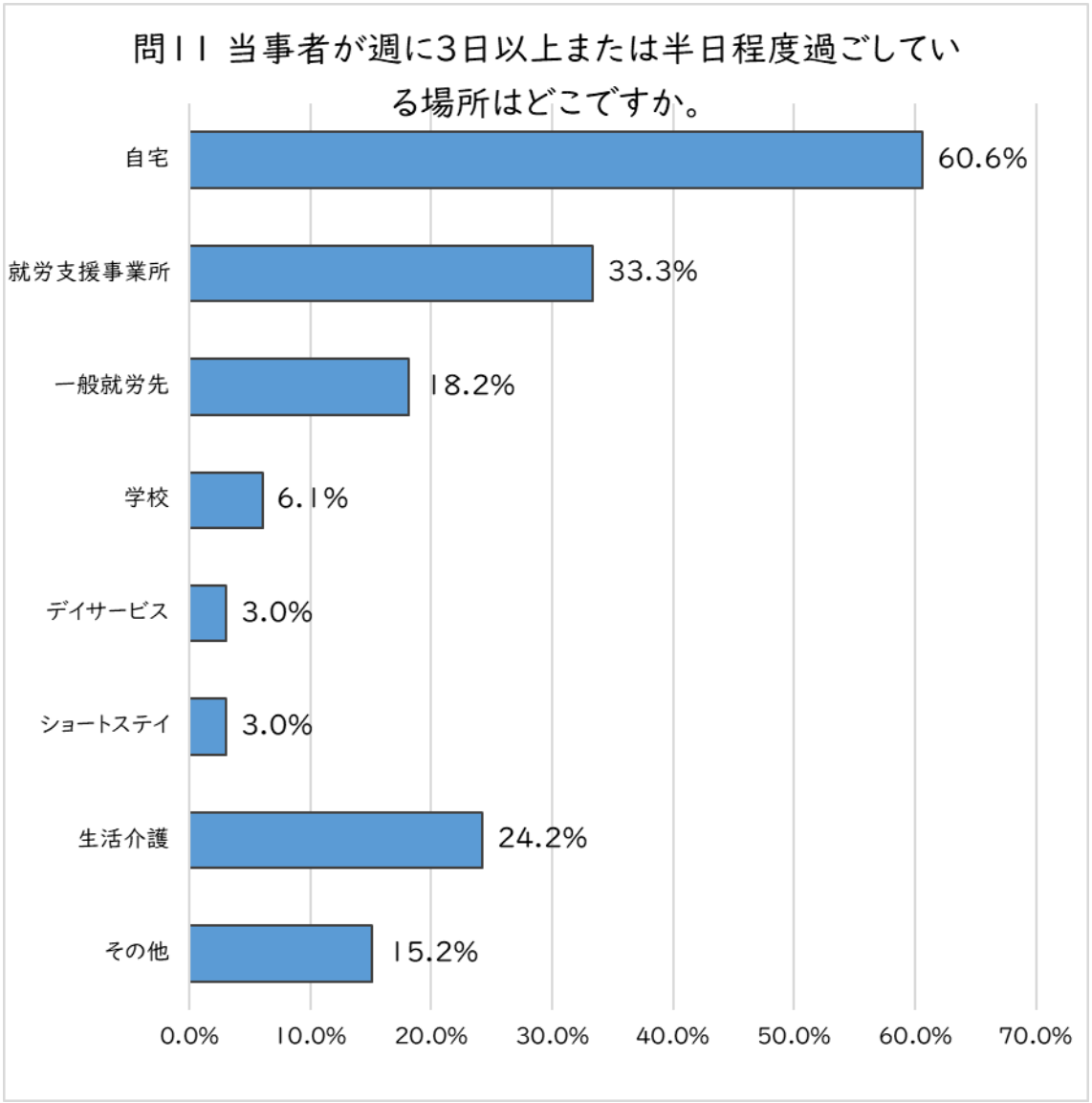
選択肢・項目	回答数	割合
自宅	20	60.6%
就労支援事業所	11	33.3%
一般就労先	6	18.2%
学校	2	6.1%
デイサービス	1	3.0%
ショートステイ	1	3.0%
生活介護	8	24.2%
その他	5	15.2%

自由記載:

・週2日清掃の仕事

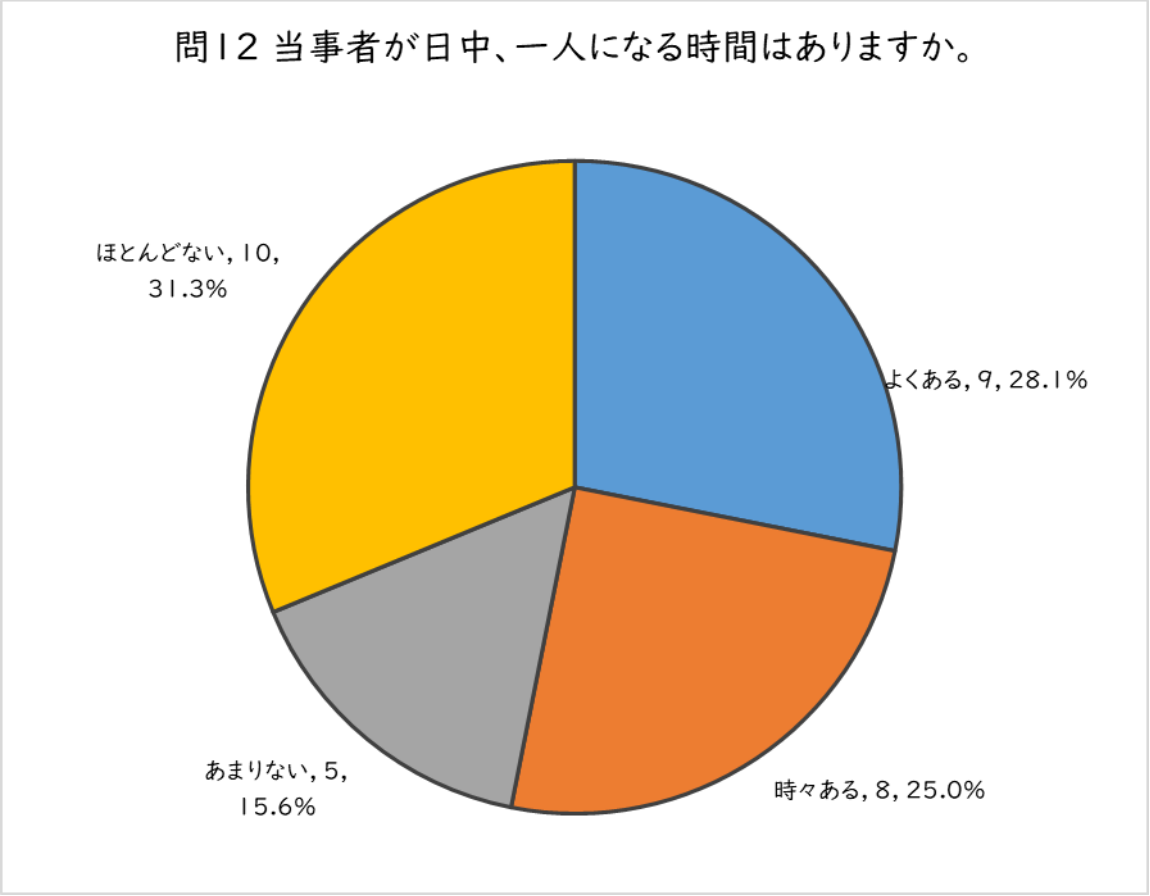
・GH

・外



問 12 当事者が日中、一人になる時間はありますか。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
よくある	9	28.1%
時々ある	8	25.0%
あまりない	5	15.6%
ほとんどない	10	31.3%



問 13 世帯全員が自宅で被災した時、特に不安な災害を教えてください。（〇はいくつでも）

選択肢・項目	回答数	割合
地震	22	66.7%
津波	24	72.7%
大雨・洪水	19	57.6%
土砂災害	9	27.3%
停電	15	45.5%
火災	14	42.4%
台風・暴風	12	36.4%
火山噴火	6	18.2%
大雪・豪雪	15	45.5%
その他	8	24.2%
わからない	0	0.0%

また、不安がある理由をかっこ内に記入してください。（自由記載）

【地震】

家が古い

義足なので歩いての避難は難しい

住宅は築30年以上耐震対応になっていないので不安と、避難する時に車での移動を切に願う

こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。

スムーズに避難できない。家が崩壊したとき

避難できない

地震後も自宅で過ごせるか

重度障害でベッドに寝ているときなど心配

建物が耐えられるか、避難した場合そこにすぐ移動できるか

避難場所で障がい者当人が受け入れられるか不安、また迷惑をかけないか心配です。

揺れが続いたり大きいと恐ろしいと思う

家に自子供が一人でいて大きな地震がきたら、避難場所等がわからないため

【津波】

海が近い

避難できないから
義足なので歩いての避難は難しい
住宅は津波被害地区で在宅避難はできず避難所生活は精神的に苦痛
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
スムーズに避難できない。家が崩壊したとき
避難できない
車でなければ避難できない
車で移動を考えていたが、カラフト地震の時にそれが不可能ではないかと感じた。※周囲の住人ほとんどが一斉に移動したため全く道路から動けなくなったため。
経験がない
避難場所で障がい者当人が受け入れられるか不安、また迷惑をかけないか心配です。
津波が来る前に高いところへ避難しなくてはと思う
家に子供が一人でいた場合の避難等の対応

【大雨・洪水】
義足なので歩いての避難は難しい
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
スムーズに避難できない。家が崩壊したとき
避難できない
坂の下が家なので大雨の流入で浸水、太陽光の蓄電池の浸水
坂の上から雨等流入してきて浸水
経験が乏しい
避難場所で障がい者当人が受け入れられるか不安、また迷惑をかけないか心配です。
ニュース、TV やラジオで最新情報がわかりたいが地域によってはあてはまらないことがあり不安

【土砂災害】
義足なので歩いての避難は難しい

こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
坂下で裏が石垣なので
坂の下が家なので

【停電】
家電が使えない
義足なので歩いての避難は難しい
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
医療ケアが必要で電動ベッド等何かと電気が必要
ライフライン
夏の暑さにとても弱いのでエアコンとかないととても大変です。

【火災】
義足なので歩いての避難は難しい
住むところが無くなる不安と将来的なことも不安
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
避難できない
一人でいるとき、重度障害の息子を外へ運べるか
経験がない

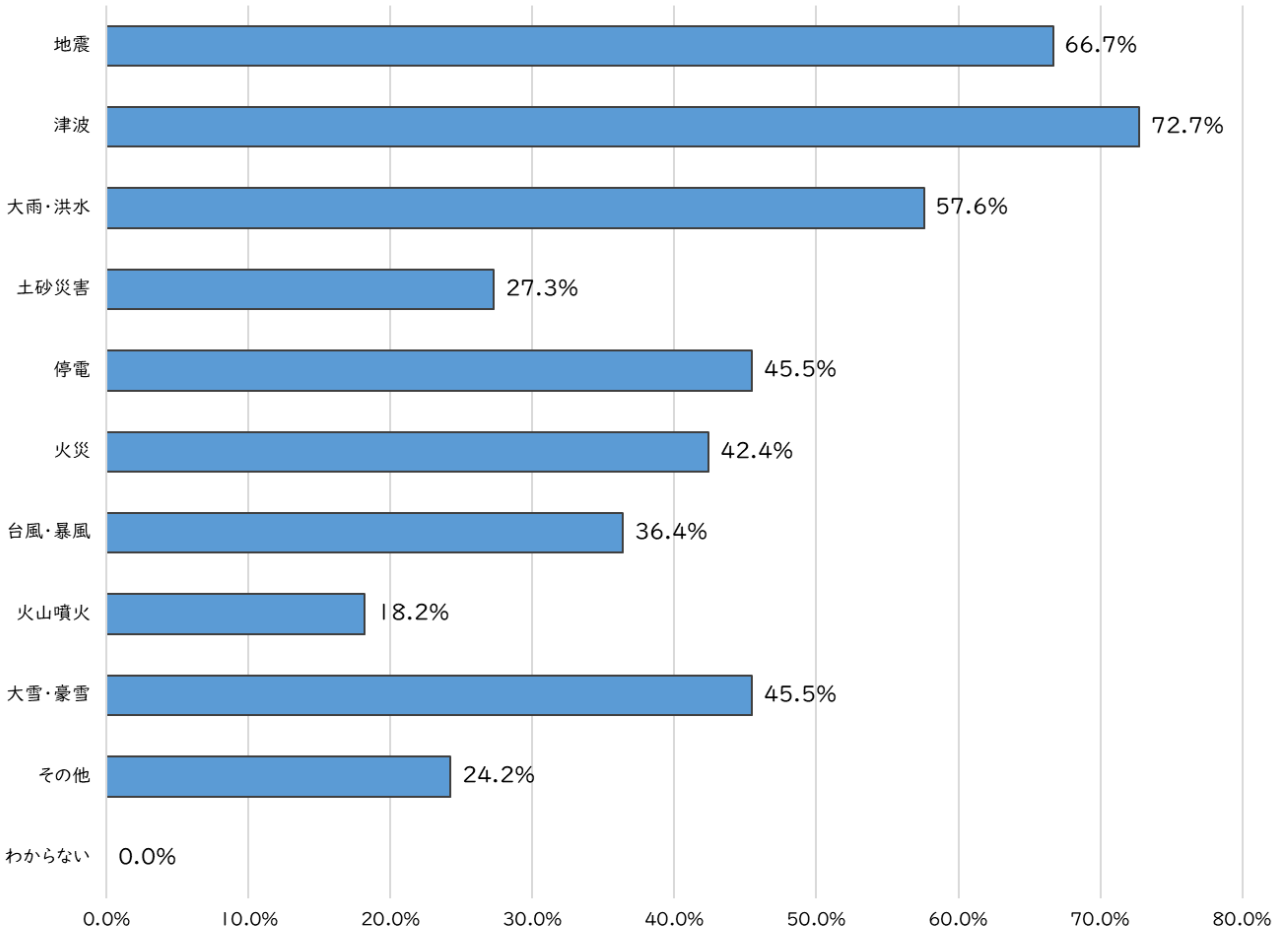
【台風・暴風】
義足なので歩いての避難は難しい
住宅の被害がどれくらいか分からないのとあと片付けライフラインの普及
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
避難できない

【火山噴火】
義足なので歩いての避難は難しい
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
有珠山がそろそろ噴火する頃ではないかと不安に思う

【大雪・豪雪】
義足なので歩いての避難は難しい
停電や交通障害、食料の不安
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
避難できない
車を使用できないと移動ができない
山に近いので
除雪に時間がかかる。交通寸断孤立。

【その他】
義足なので歩いての避難は難しい
娘の他に最重度知的障がい者もいるので家族だけで支え合うのは不安。食料等の備蓄は1週間ぐらいはあるがその後の支援の心配
こだわりやパニックが多い最重度知的障害・発達障害の息子と他2人障害があり、避難することや避難所生活はとても難しい。在宅避難も考えているが家族だけでは生活できないので地域の方や行政の支援が必要です。
車が無くなってしまったら全く移動ができない（車が福祉車両なので）
防災用品は用意してあったが用意した品が多すぎて重くて持ち歩きが大変だったため少し減らそうかと思うが避難所に何があるか和ｋらず結局減らすことができない
通信不能。子の情緒。復旧までのマンパワー
避難所で過ごせるか心配。他者に迷惑をかけるので。
全て

問13 世帯全員が自宅で被災した時、特に不安な災害を教えてください。（○はいくつでも）



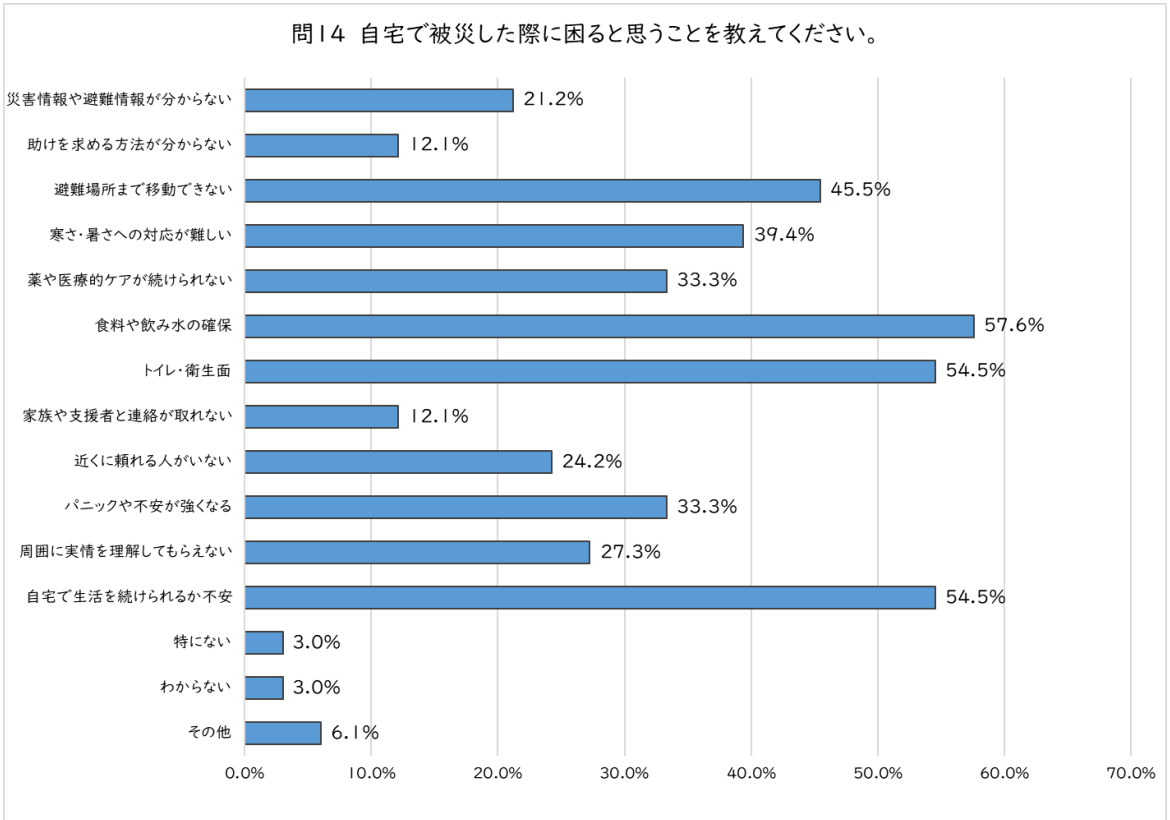
問 14 自宅で被災した際に困ると思うことを教えてください。(○はいくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
災害情報や避難情報が分からない	7	21.2%
助けを求める方法が分からない	4	12.1%
避難場所まで移動できない	15	45.5%
寒さ・暑さへの対応が難しい	13	39.4%
薬や医療的ケアが続けられない	11	33.3%
食料や飲み水の確保	19	57.6%
トイレ・衛生面	18	54.5%
家族や支援者と連絡が取れない	4	12.1%
近くに頼れる人がいない	8	24.2%
パニックや不安が強くなる	11	33.3%
周囲に実情を理解してもらえない	9	27.3%
自宅で生活を続けられるか不安	18	54.5%
特にない	1	3.0%
わからない	1	3.0%
その他	2	6.1%

自由記載:

・福祉車輌なので使用できなくなったらかなり困る

・避難所に移動できても周りに迷惑がかかると思うと避難することに抵抗がある



問 15 避難所において困ると思うことを教えてください。(○はいくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
人が多い場所が苦手	14	42.4%
環境の変化がつらい	17	51.5%
落ち着ける場所がない	15	45.5%
トイレが使いにくい	19	57.6%
介助・支援を受けられるか不安	12	36.4%
薬・医療機器の管理	11	33.3%
電源確保(充電・医療機器等)	13	39.4%
食事(アレルギー・配慮食等)	4	12.1%
周囲とのコミュニケーション	14	42.4%
睡眠が取りにくい	12	36.4%
周囲の障がいや特性への理解	14	42.4%
パニック・体調悪化	11	33.3%
プライバシーの確保	16	48.5%
感染症	12	36.4%
家族や支援者と離れること	15	45.5%
ペットとの避難	8	24.2%
利用方法が分からない	4	12.1%
特にない	1	3.0%
わからない	0	0.0%
その他	3	9.1%

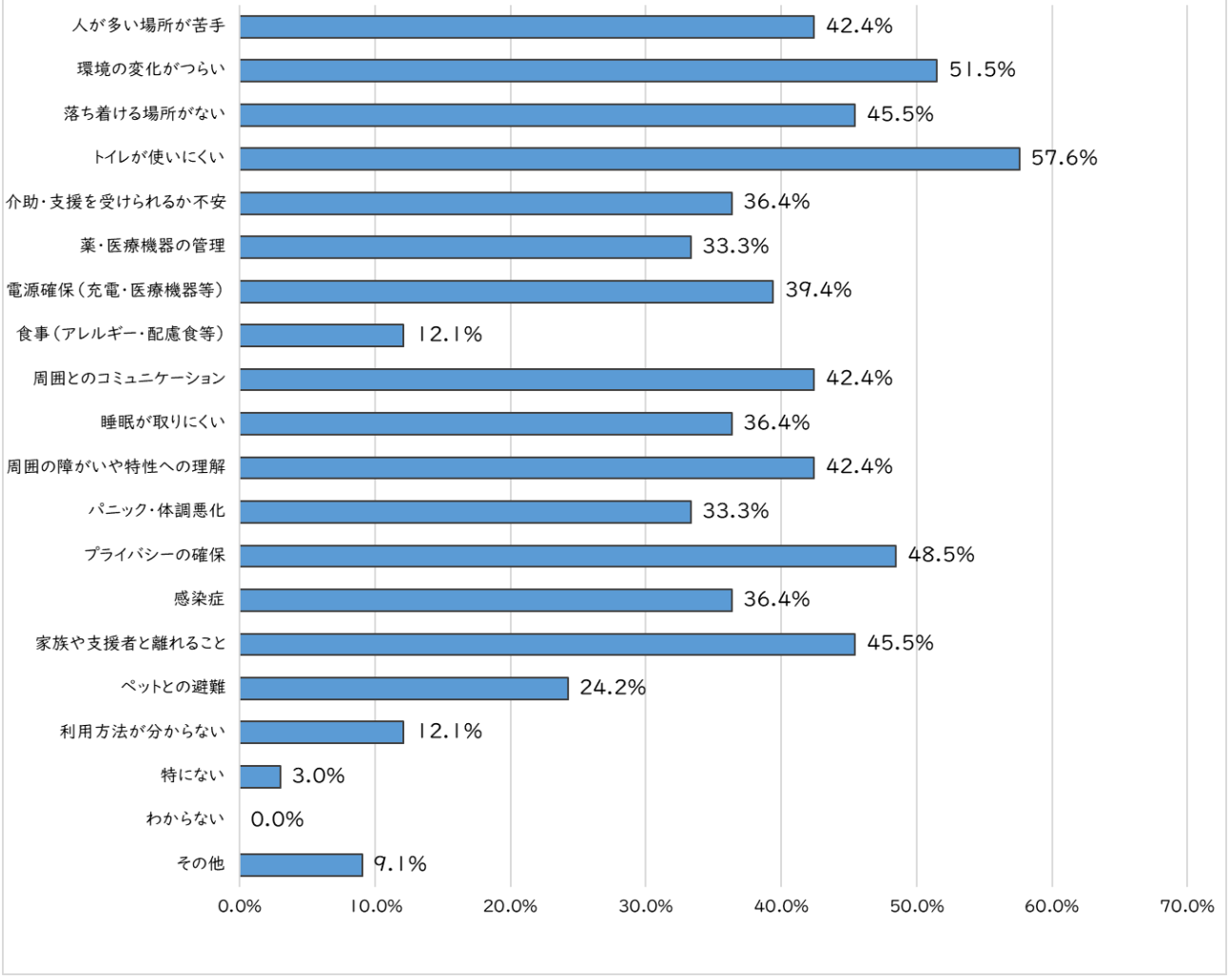
自由記載:

・食料等の配布時本人(障がい者)をみているので並ぶことができないし、本人が並ぶルールを理解できないので自分が先にとってしまう周囲のことを考えられない他人から見れば迷惑行為

・オムツ使用なので尿や便の処理など臭いの問題も不安。

・ペットが苦手でパニックを起こす。避難所内の情報伝達、下足が一?(衛生面)

問15 避難所において困ると思うことを教えてください。



問 16 災害時だけでなく普段の生活で困っていることを教えてください。(○はいくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
地域とのつながりが少ない	13	39.4%
相談先が分からない	2	6.1%
外出が難しい	9	27.3%
暮らしの情報が入りにくい	3	9.1%
緊急時に頼れる人がいない	15	45.5%
周囲に理解が得られない	8	24.2%
その他	4	12.1%
特にない	5	15.2%

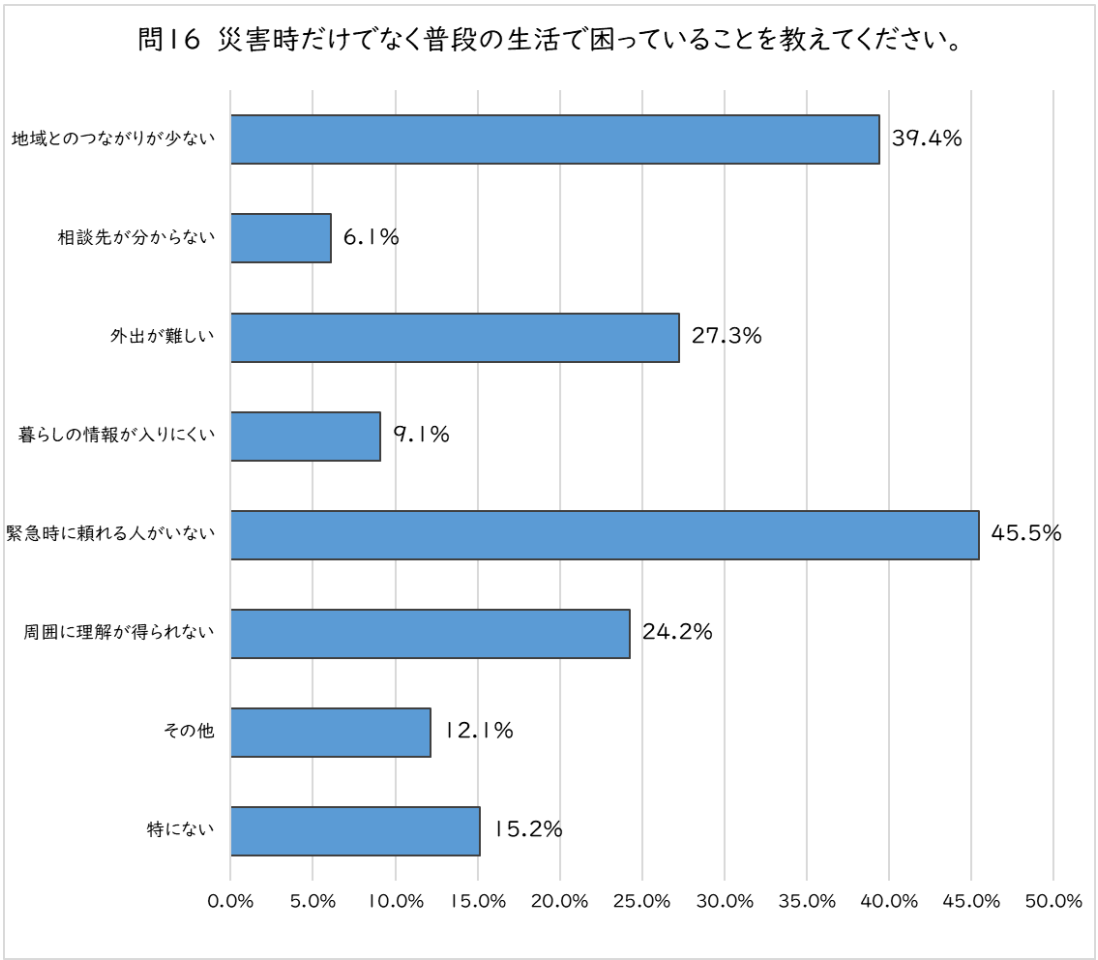
自由記載:

・普段通っている病院が室蘭なので遠い、車がないとムリ

・親に何かあった時にも面倒を見てくれる人がいないのが心配

・子ども(障害者)の健康管理が大変

・周囲に飲食チェーン店や娯楽施設が少ない上に廃校が壊されずに放置されいる所。推し活出来る所が全体的に少ない。



問 17 どのような災害の備えをしていますか。(○はいくつでも)

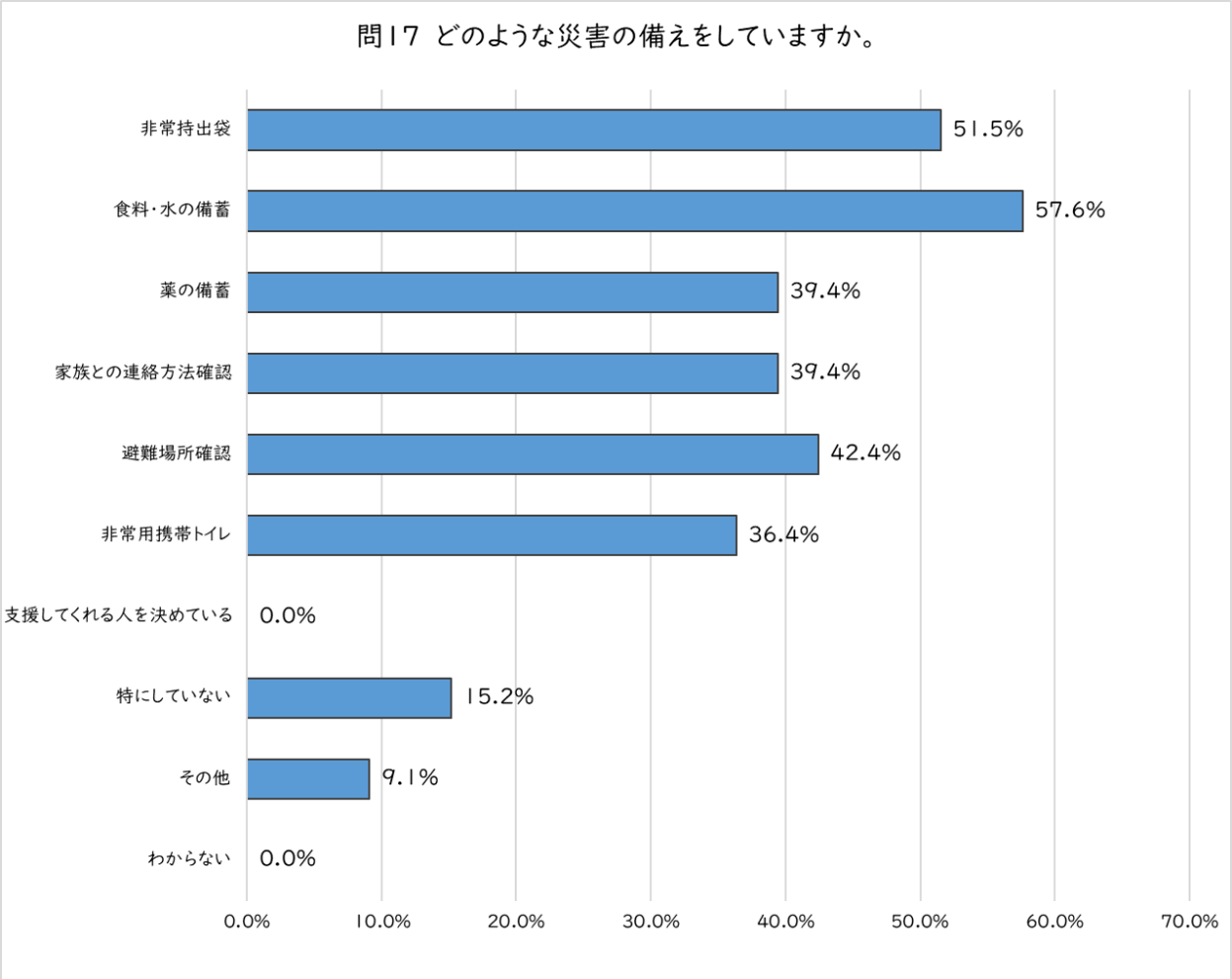
選択肢・項目	回答数	割合
非常持出袋	17	51.5%
食料・水の備蓄	19	57.6%
薬の備蓄	13	39.4%
家族との連絡方法確認	13	39.4%
避難場所確認	14	42.4%
非常用携帯トイレ	12	36.4%
支援してくれる人を決めている	0	0.0%
特にしていない	5	15.2%
その他	3	9.1%
わからない	0	0.0%

自由記載:

・オムツ多くしてる

・在宅避難の準備

・用意している最中



問 18 災害時に支援をお願いできる人はいますか。(○はいくつでも)

選択肢･項目	回答数	割合
近所の人	2	6.1%
民生委員	4	12.1%
事業所の職員	3	9.1%
町内会	1	3.0%
いない	16	48.5%
その他	6	18.2%
わからない	7	21.2%

自由記載:

･家族

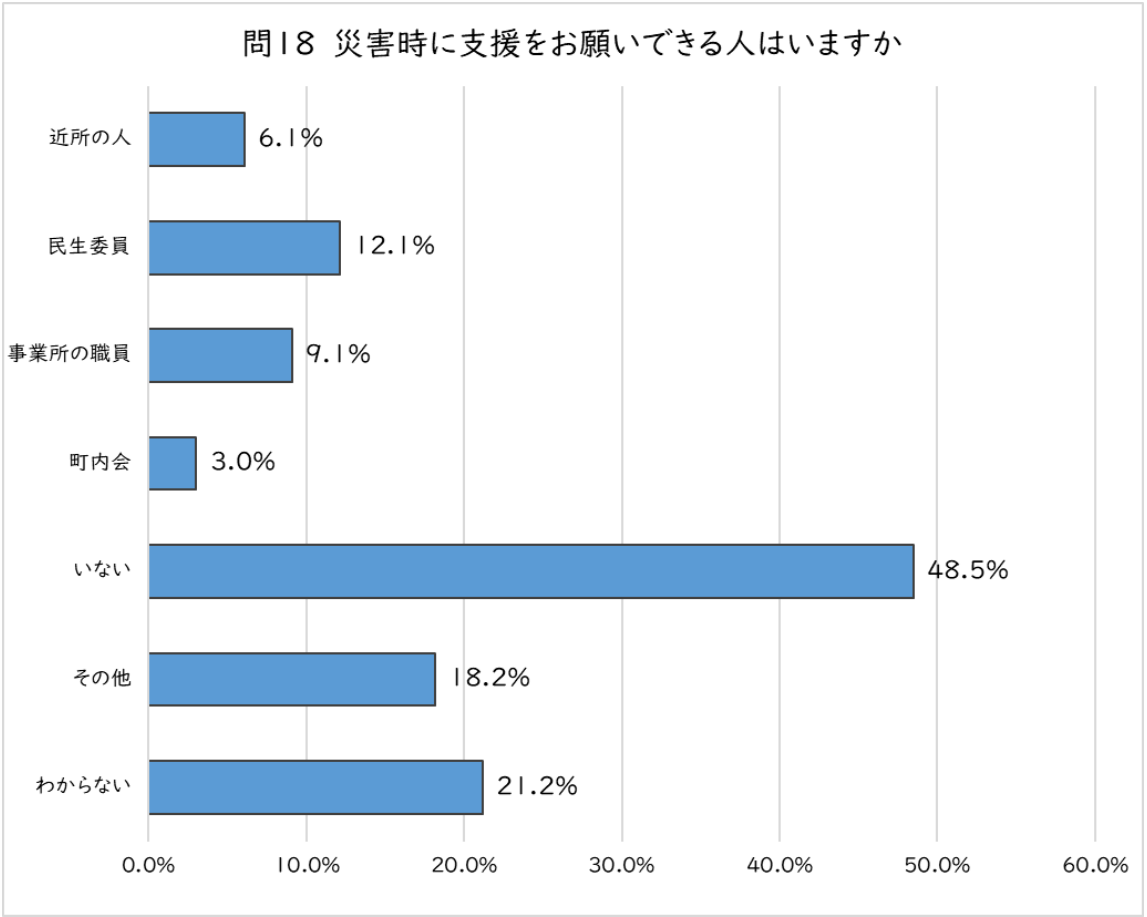
･友人

･家族

･民生委員との繋がりがない

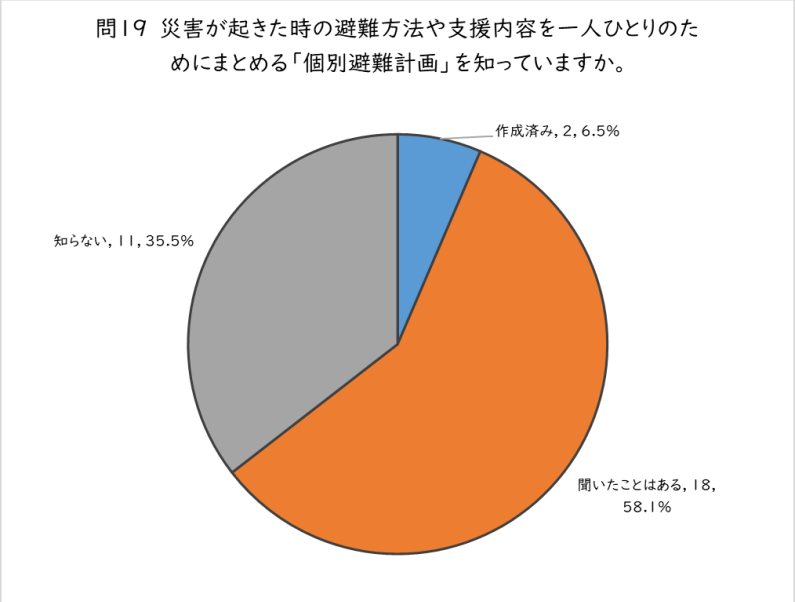
･家族や仲間達(若者等)

･友人



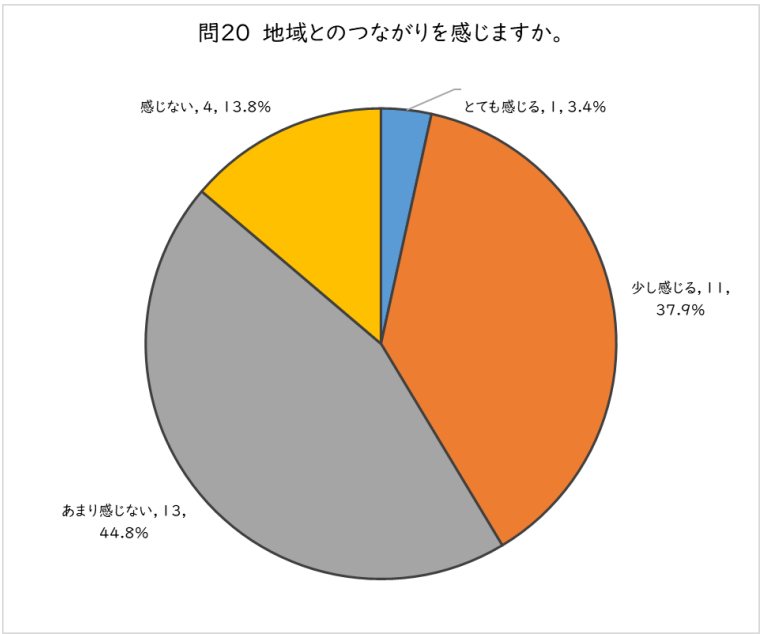
問 19 災害が起きた時の避難方法や支援内容を一人ひとりのためにまとめる「個別避難計画」を知っていますか。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
作成済み	2	6.5%
聞いたことはある	18	58.1%
知らない	11	35.5%



問 20 地域とのつながりを感じますか。(○は1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
とても感じる	1	3.4%
少し感じる	11	37.9%
あまり感じない	13	44.8%
感じない	4	13.8%

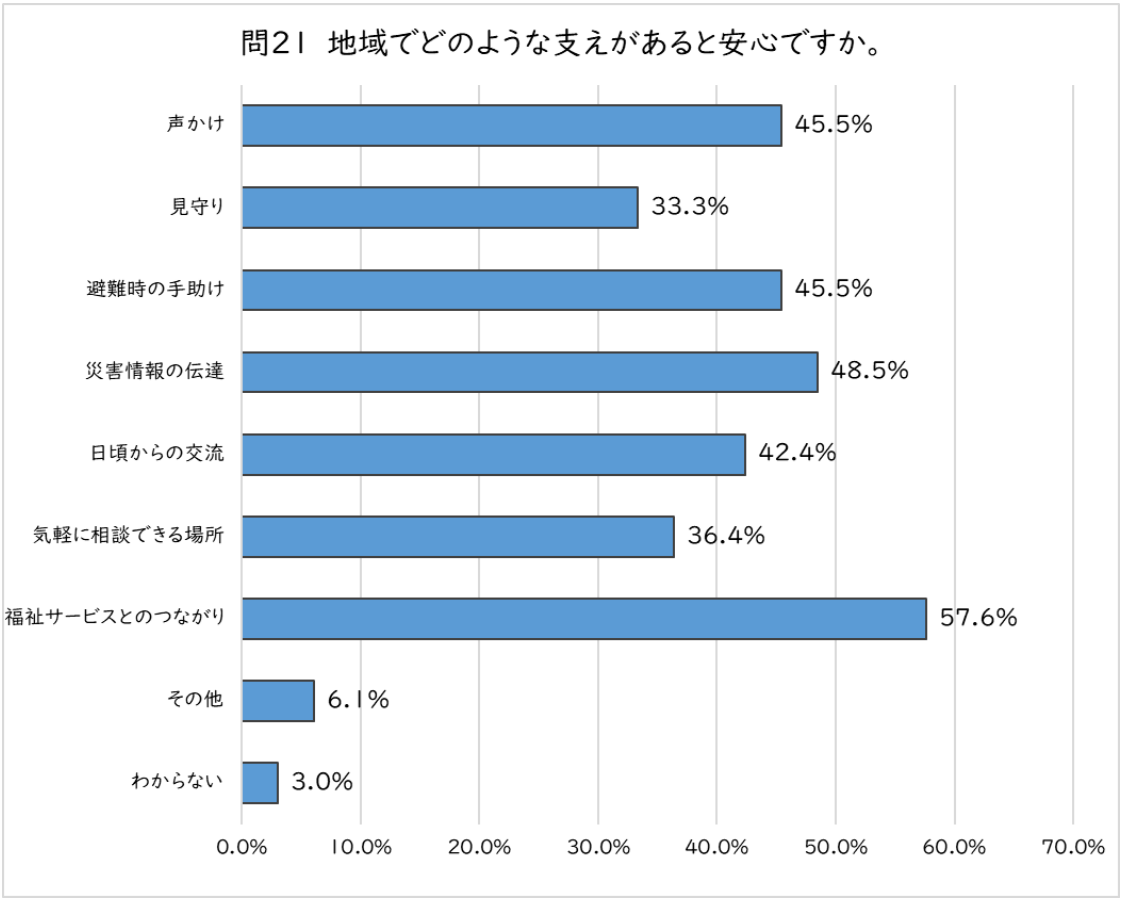


問 21　地域でどのような支えがあると安心ですか。（○はいくつでも）

選択肢･項目	回答数	割合
声かけ	15	45.5%
見守り	11	33.3%
避難時の手助け	15	45.5%
災害情報の伝達	16	48.5%
日頃からの交流	14	42.4%
気軽に相談できる場所	12	36.4%
福祉サービスとのつながり	19	57.6%
その他	2	6.1%
わからない	1	3.0%

自由記載：

･若者達や学生達の居場所や娯楽施設



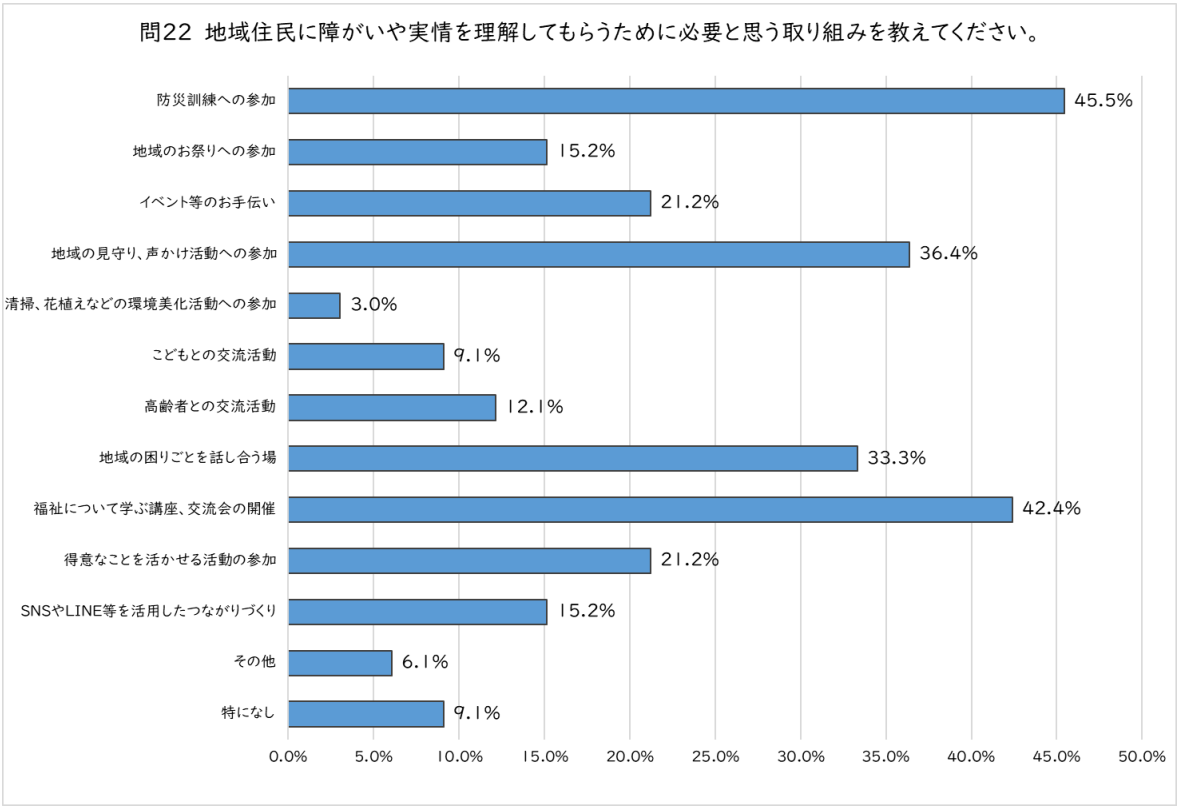
問 22 地域住民に障がいや実情を理解してもらうために必要と思う取り組みを教えてください。（〇はいくつでも）

選択肢・項目	回答数	割合
防災訓練への参加	15	45.5%
地域のお祭りへの参加	5	15.2%
イベント等のお手伝い	7	21.2%
地域の見守り、声かけ活動への参加	12	36.4%
清掃、花植えなどの環境美化活動への参加	1	3.0%
こどもとの交流活動	3	9.1%
高齢者との交流活動	4	12.1%
地域の困りごとを話し合う場	11	33.3%
福祉について学ぶ講座、交流会の開催	14	42.4%
得意なことを活かせる活動の参加	7	21.2%
SNSやLINE等を活用したつながりづくり	5	15.2%
その他	2	6.1%
特になし	3	9.1%

自由記載：

・障害についての町内会等地域啓発、理解促進

・衰退する街の現状を知って貰う為の話し合い



問 23 地域活動に参加しやすくなるには何が必要と思いますか。(○はいくつでも)

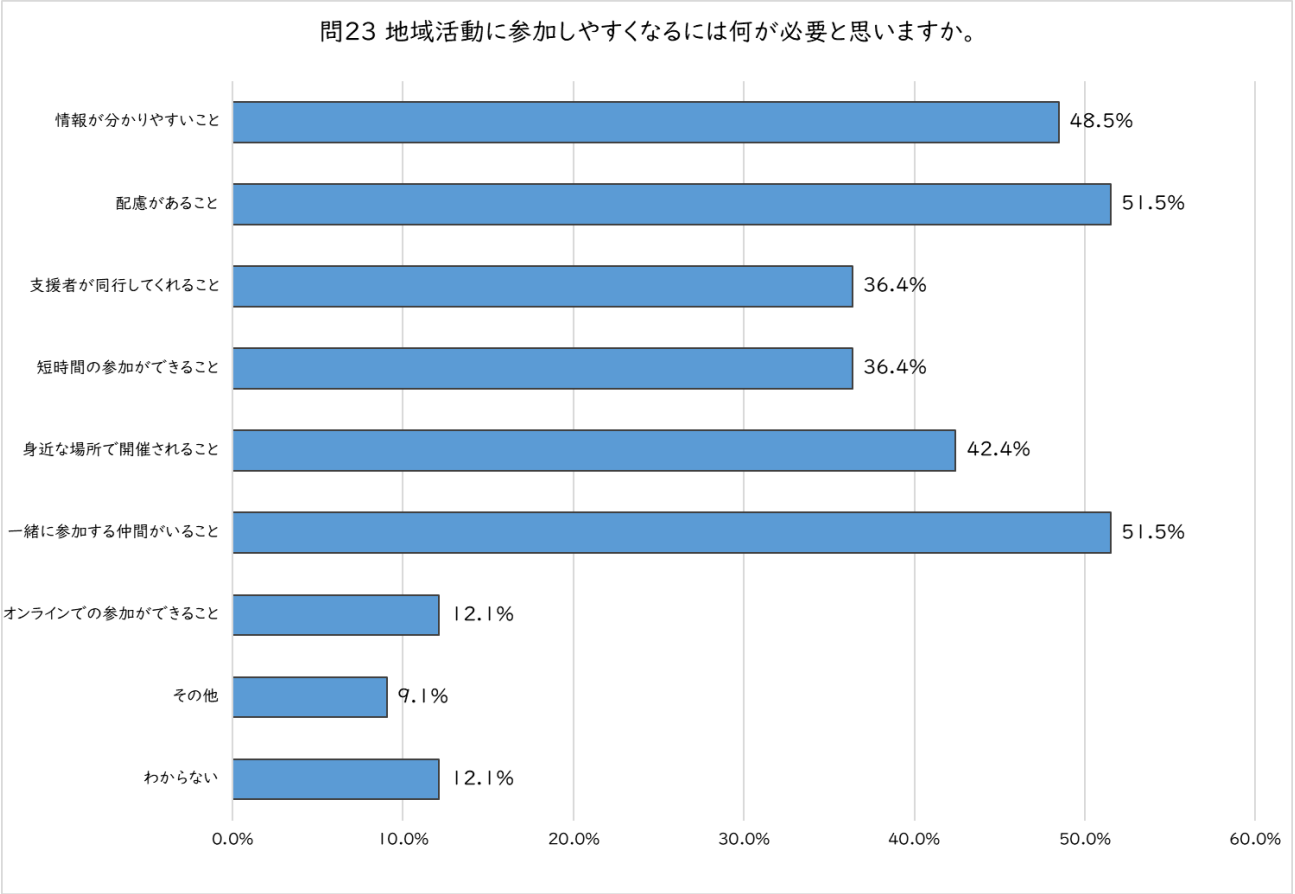
選択肢・項目	回答数	割合
情報が分かりやすいこと	16	48.5%
配慮があること	17	51.5%
支援者が同行してくれること	12	36.4%
短時間の参加ができること	12	36.4%
身近な場所で開催されること	14	42.4%
一緒に参加する仲間がいること	17	51.5%
オンラインでの参加ができること	4	12.1%
その他	3	9.1%
わからない	4	12.1%

自由記載:

・集う場所や居場所、仲間同士が集える場所

・アンケートで声をひろうこと。デイサービス・病院・日中活動している場と市とのつながり

・市議会の努力と学生との意見交換や祭り等の大規模イベント



問 24 「障がいのある方の避難支援ハンドブック」に載せてほしい内容を自由にご記入ください。

・見た目で分かりづらい知的障害・発達障害への理解。見守り（避難所での大声、パニック、どんぴょん跳ねる等）と福祉スペースの確保。食料配給時やトイレの順番等のルールが分からず（ならばずに先にもらおうとする）批判される。親や兄弟も居づらくなる

・知的や発達障がいの特性を理解する内容や支援、言葉がけ

・紙オムツを使っているので、オムツ交換の場所を別にして欲しい。ゴミやごみ袋（臭い）などの配慮も理解して欲しい。音に敏感ですぐ発作をおこすので、皆と同じではない場所が良い。

・ハンドブックに載せてあるとは思いますが、やはり避難が必要になったこと、迅速に対応できなかったり、避難場所が困難なことの対処訪です。（障害にも個人差があるので・・・）

・災害がおきた時に避難場所までの介助と避難場所内の移動が重要です。それと足歩での避難は難しいところがある。

・各障がい者について正しく理解してもらうための情報提供。各障がい者についての的確な介助方法（避難所）。避難所での情報提供（視覚障がい者、聴覚障がい者）。

・肢体不自由児者や重度障害者は殆どが一般トイレは使用できずオムツ使用者が多いです。（ストーマや薬尿なども含む）そのため、排泄用の個室（多目的ベッド・広いスペース）使用後のオムツ処理問題・臭いの問題など必要であることを理解して避難所運営をして欲しい。（高齢者や乳幼児にも必要なので）。福祉避難所に行くのが望ましいと思われますが、やはりずるいだとかなぜ障がい者だけが優遇されるんだ!などの配慮のない言葉がかけられないような体制をお願いしたいです。車以外での避難がかなり難しい。大雪や大雨に車いすが動かなくなるのでその時は車かもしくは誰かの手伝いが必要。確保できるか心配です。

・避難する時に持っていったらいいものを教えて欲しいです。思いつかないものもあると思うので…

・分かりやすい文章、フローチャート等で見やすいものだと助かります。

・障害の内容、特性や種別には様々なものがありますが知的障がい者の親としてその特性に特化した形で意見を記させていただきました。 1.「自分の言葉で伝えられない・命の危険を自分で判断できない」ことへの周囲の理解状況判断の困難性と全面的な代弁の必要性 ○最重度の場合、地震や火災などの非常事態が起きた際、何が起きているのかを自分で理解して判断することが極めて困難であること。 ○「自分の足で逃げる」「危険を避ける」ことが一人ではできないため、周囲の大人が本人の代わりに状況を察知し、身体を抱え上げてでも避難させる（完全な介助・同行避難）必要があることの共通認識化。 ○意思表示のサイン読み取り 言葉でのコミュニケーションが難しいため、不穏な様子、独特のこだわり動作、呼吸の荒さ、表情や体のこわばりなどが、本人なりの「恐怖」「苦痛」「トイレに行きたい」「痛い」という精一杯の SOS のサインであることの周知。 2. 一般の避難所では耐えられない「感覚過敏とパニック」への物理的対応 大空間・雑音への極度な耐性のなさ ○多くの人が集まる体育館などの避難所は、視覚的・聴覚的情報が氾濫し、重度の障がい者にとってはパニックや事象・他害（緊張によるもの）を引き起こしやすい過酷な環境であること。 ○完全な隔離・個別スペース（または福祉避難所への直行）の確保 周囲の視線や音を完全にシャットアウトできる小部屋や、車内避難・テント等を利用した隔離された安全なス

ペースの確保が命を守るために不可欠であること。 一般の避難所を経由せず、最初から受け入れ態勢が整った「福祉避難所」へ直行できる仕組みやルートの事前周知。 3.命と生活を守るための「専用の医療・ケア用品」の持ち出しと確保、常時必要なケア用品・医療機器の配慮 〇常時オムツを使用している場合の大量ストックや、医療ケア（痰の吸引など）、服薬管理が必要な場合のの電源確保や専用スペースの確保。〇パニック時を抑えるための必須アイテムの容認 〇本人を落ち着かせるための特定寝具、いつも使っているクッション、お気に入りのタオルやイヤーマフなど、「これがないとパニックが収まらない」というこだわりグッズの持ち込みに対する周囲の完全な理解と寛容さ 4.平時からの「地域・支援者による見守りチーム」の固定化 緊急時の「お迎え・救出」の役割分担 〇災害発生時に、誰がその過程に駆け付け、家族（高齢化した親など）とともに最重度の当事者をどのように抱え出して避難場所まで誘導・搬送するのかという「具体的な担当者と手順」をあらかじめ地域（町内会・民生委員等）と結んでおくことの重要性。〇「初めて見る人」を極端に怖がる特性への配慮 見知らぬ人が突然近づくとパニックを起こしてしまうため、平時の防災訓練や日常の挨拶などを通じて、地域の人々の顔や存在に少しでも慣れておくための取り組みの必要性。

・障害には色々な種類や特性があって見た目で判断しないでほしい。「困った人!!」ではなく「困っている人が大きな声を上げたり、走ったりしている」ことに気付いてほしい 障害者にどう接して良いのかわからなければ、その家族の困っていることに寄り添ってほしい。それが当事者への支援になる。
・障害者の症状にあわせて細かく配慮してほしい。以前はまわりに友達や知人がいて助けてくれたが年令が高くなってくると、みんな亡くなってしまい、今、75才になって新たにそういう人をつくることは結構大変です。積極的に外に向かって動いていける人はいいでしょうが、そうでもない人もいると思います。
・福祉避難場所の利用。一般避難場所の福祉スペースについて完結、わかりやすく載せてほしい。

問 25 災害時や地域での支え合いについて意見があれば自由にご記入ください。

・各町内会での個別避難計画の早期実施と避難場所での要配慮者への支援について話し合いと町内会避難訓練時に対象者も参加するよう声がけをする
・障がいが重いので地域の人に支えてもらえることはないと思うが、避難できない時、家に居る時は物資など運んだり、聞きに来てくれたりして欲しい。スマホからの情報収集も年を取っていて苦手なので。親が動けなくなったら、息子をどうするかは不安。
・災害はある日突然襲ってくる。最近は頻繁に起こっている気がします。大きな災害が発生した直後は行政の支援が間に合わず一刻を争う時もあり、その時に地域の方の助け合いが大切かと思います。手助けを必要とするハンディを持つ人たちは、近隣の方とのコミュニケーションも必要なのかと思います。
・地域での行?がたいへん重要だと思います。
・平時からでの地域住民と障がい者との見守りと交流。災害時に避難する時に障がい者に声をかけて一緒に避難してほしい。

・支え合いやご理解をお願いするばかりですが重度障害者の介護をしているとなかなか地域の活動に参加できる方は少ないです。余裕もなく申し訳ありません。それでも何かできることがあるかもしれないので、何かあれば相談し合えたら良いと思っています。当事者の体が大きく、床からの車椅子に移乗させたり車がない中での移動は大変困難な状況が想定されます。その時はお手伝いをお願いしたいです。
・できたら障がい者とその家族は避難所で別の場所（専用）にしてもらいたいです。なるべく健常者さんにご迷惑はかけないようにしたいので。
・ここでも知的障がい者の親としての意見を記させていただきました。 1．最重度の知的・発達障害がある人とその親の老介護・家族を孤立させないための「地域による実践的支援」 〇「自分の足で避難できない・逃げられない」現実を前提とした、個別避難計画の具体化 最重度の場合、自力避難が不可能であるだけでなく、パニックや他者への恐怖心から家族以外の人に体を預けることを極端に嫌がる場合があります。そのため、「誰が、どのタイミングで、どのように自宅へ駆けつけ、家族と一体となって安全な場所へ搬送するか」という具体的な救出シナリオ（顔の見えるチーム作り）を、平時から町内会や民生委員等の地域社会と共有しておくこと。 〇避難所運営における「家族・支援者への精神的・身体的ケア」の必要性 重度の障がい者を抱える家族（特に高齢化した親など、いわゆる「老老介護」の世帯）は、災害時、自身の安全を図る余裕すらなく、昼夜問わず我が子のケアに追われ心身ともに極限状態に追い込まれます。 〇ハンドブックにおいて、地域住民や支援者が「障害のある本人」だけでなく、「その介護に奔走する家族」の状況も察知し、交代で休ませる、水分や食事を差し入れる、二次的な介助を分担するといった、家族まるごと支える意識と体制を持つことの重要性を明記してほしい。
・避難所等たくさんの人で混雑しているところに長くはいられません。一般の方が思う以上に本人は待つことも自分のことを伝えることもできません。その代わりに大声を上げたり、走り回ったりします。 それは本人がとてもつらく苦しいからそうしてしまうのです。そんなことを少しでもわかってもらいたいと思います。
・なるべくなら近くの人達と支え合っていければ一番いいとは思うますが、周りは高齢者ばかりです。
・まずは、災害、避難、防災について、市民が正しく理解することが大切だと思います。その基盤があってこその地域での支え合いだと思います。

障がい当事者ご家族の皆様へ

「災害時の避難と地域での支え合いに関するアンケート」

はじめに

本アンケートは、障がいのある方やそのご家族等が、災害時に安心して避難し、地域の中で支え合いながら暮らし続けられる地域づくりを進めるために実施するものです。

回答いただいた内容は、次の目的に活用します。

① 障がいのある方の「災害時の避難支援ハンドブック」の作成
② 地域での支え合いや避難支援体制づくりの検討
③ 第５期登別市地域福祉実践計画「きずな」（令和９年度～令和１３年度）の策定

皆さまの声をもとに、「災害時だけでなく、ふだんからつながり支え合える地域」を目指していきます。

回答内容は統計的に整理し、個人が特定される形では公表しません。皆さまの率直なお声をお聞かせください。

なお、本アンケートは世帯に属する障がい当事者１名つき「１部」としております。

また、障がい当事者ご本人が回答する場合は、障がい当事者用アンケートにて回答くださいますようお願い申し上げます。

登別市障害者福祉関係団体連絡協議会
き　ず　な　推　進　委　員　会
社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

※全 25 問、回答の目安は 15 分ほどです。

【調査期間 令和8年8月3日～令和8年8月21日まで／団体長にお渡しください】

■記入者について

問１　記入者と障がい当事者の方との関係性を教えてください。（○は１つ）

１．保護者（子が当事者）　　２．子ども（親が当事者）

３．配偶者（夫もしくは妻が当事者）　　４．その他（　　）

問２　記入者の性別を教えてください。（○は１つ）

１．男性　　２．女性　　３．その他（　　）　　４．回答しない

問３　記入者の年代を教えてください。（○は１つ）

１．３０歳代以下　　２．４０歳代　　３．５０歳代

４．６０歳代　　５．７０歳代　　６．８０歳代以上

問４　世帯構成を教えてください。（○は１つ）

１．親子世帯（当事者の兄弟姉妹あり）　　２．親子世帯（当事者の兄弟姉妹なし）

３．親子世帯（親が当事者）　　４．ひとり親世帯（当事者の兄弟姉妹あり）

５．ひとり親世帯（当事者の兄弟姉妹あり）　　６．三世代同居世帯

７．その他（　　）

問５　お住まいの小学校区を教えてください。（○は１つ）

※きずなでは、小学校区を“暮らしの圏域”として捉えていることから、統合のあった幌別東小学校区についても選択肢としています。

1.登別小学校区（登別温泉町、上登別町、カルルス町、中登別町、登別東町、登別港町、登別本町、富浦町、札内町 381 番地）

2.幌別東小学校区（幸町、幌別町、新栄町）

3.幌別小学校区（中央町、常盤町、千歳町、来馬町、札内町(札内町 381 番地除く)）

4.幌別西小学校区（富士町、新川町、片倉町、柏木町、川上町、鉱山町）

5.青葉小学校区（緑町、桜木町、青葉町、大和町１丁目、若山町１･２丁目）

6.富岸小学校区（新生町、富岸町、若山町 3･4 丁目、栄町 3･4 丁目、大和町２丁目）

7.若草小学校区（美園町、若草町、上鷲別町）

8.鷲別小学校区（鷲別町、栄町 1･2 丁目）

■ご家族（当事者）のことについて

問6 性別を教えてください。（○は 1 つ）

1．男性　　2．女性　　3．その他（　　）　　4．回答しない

問7 年代を教えてください。（○は 1 つ）

1．０～９歳　　2．１０歳代　　3．２０歳代

4．３０歳代　　5．４０歳代　　6．５０歳代

7．６０歳代　　8．７０歳代　　9．８０歳代以上

問8 該当する障がい等を教えてください。（○はいくつでも）

1．身体障がい　　2．視覚障がい　　3．聴覚障がい

4．知的障がい　　5．発達障がい　　6．精神障がい

7．医療的ケアが必要　　8．難病　　9．その他（　　）

問9 障害手帳の区分を教えてください。（○はいくつでも）

1．身体障害者手帳（ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級 ・5級 ・ 6級 ・ 7級 ）

2．療育手帳（ A ・ B ）

3．精神障害者保健福祉手帳（ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ）

4．診断は受けているが手帳は持っていない

問10 障害支援区分を教えてください。（○は 1 つ）

1．非該当（審査を受けていない含む）　　2．区分 1　　3．区分２

4．区分３　　5．区分４　　6．区分５　　7．区分６

問11 当事者が週に３日以上または半日程度過ごしている場所はどこですか。（○はいくつでも）

1．自宅　　2．就労支援事業所　　3．一般就労先

4．学校　　5．デイサービス　　6．ショートステイ

7．生活介護　　8．その他（　　）

問 12 当事者が日中、一人になる時間はありますか。（○は 1 つ）

1．よくある　　2．時々ある　　3．あまりない　　4．ほとんどない

ここからは、世帯全体のご意見としてお聞かせください。

■災害への不安について

問 13 世帯全員が自宅で被災した時、特に不安な災害を教えてください。（○はいくつでも）
また、不安がある理由をかっこ内に記入してください。（自由記載）

1．地震（　　）

2．津波（　　）

3．大雨・洪水（　　）

4．土砂災害（　　）

5．停電（　　）

6．火災（　　）

7．台風・暴風（　　）

8．火山噴火（　　）

9．大雪・豪雪（　　）

10．その他（　　）

11．わからない

問 14　自宅で被災した際に困ると思うことを教えてください。（○はいくつでも）

1．災害情報や避難情報が分からない

2．助けを求める方法が分からない

3．避難場所まで移動できない

4．寒さ・暑さへの対応が難しい

5．薬や医療的ケアが続けられない

6．食料や飲み水の確保

7．トイレ・衛生面

8．家族や支援者と連絡が取れない

9．近所に頼れる人がいない

10．パニックや不安が強くなる

11．周囲に実情を理解してもらえない

12．自宅で生活を続けられるか不安

13．特にない　　14．わからない

15．その他（　　）

問 15　避難所において困ると思うことを教えてください。（○はいくつでも）

1．人が多い場所が苦手
2．環境の変化がつらい
3．落ち着ける場所がない
4．トイレが使いにくい
5．介助・支援を受けられるか不安
6．薬や医療機器の管理
7．電源確保（充電・医療機器等）
8．食事（アレルギー・配慮食等）
9．周囲とのコミュニケーション
10．睡眠が取りにくい
11．周囲の障がいや特性への理解
12．パニック・体調悪化
13．プライバシーの確保
14．感染症
15．家族や支援者と離れること
16．ペットとの避難
17．利用方法が分からない
18．特にない
19．わからない
20．その他（　　）

問 16　災害時だけでなく普段の生活で困っていることを教えてください。（○はいくつでも）

1．地域とのつながりが少ない
2．相談先が分からない
3．外出が難しい
4．暮らしの情報が入りにくい
5．緊急時に頼れる人がいない
6．周囲に理解が得られない
7．その他（　　）
8．特にない

■災害時の備えについて

問 17　どのような災害の備えをしていますか。（○はいくつでも）

１．非常持出袋　　２．食料・水の備蓄　　３．薬の備蓄

４．家族との連絡方法確認　　５．避難場所確認　　６．非常用携帯トイレ

７．支援してくれる人を決めている　　８．特にしていない

９．その他（　　）

10．わからない

問 18　災害時に支援をお願いできる人はいますか。（○はいくつでも）

１．近所の人　　２．民生委員　　３．事業所の職員

４．町内会　　５．いない

６．その他（　　）

７．わからない

問 19　災害が起きた時の避難方法や支援内容を一人ひとりのためにまとめる「個別避難計画」を知っていますか。（○は１つ）

１．作成済み　　２．聞いたことはある　　３．知らない

■地域とのつながりについて

問 20　地域とのつながりを感じますか。（○は１つ）

１．とても感じる　　２．少し感じる　　３．あまり感じない　　４．感じない

問 21　地域でどのような支えがあると安心ですか。（○はいくつでも）

１．声かけ　　２．見守り　　３．避難時の手助け

４．災害情報の伝達　　５．日頃からの交流　　６．気軽に相談できる場所

７．福祉サービスとのつながり

８．その他（　　）

９．わからない

問 22　地域住民に障がいや実情を理解してもらうために必要と思う取り組みを教えてください。（○はいくつでも）

１．防災訓練への参加
２．地域のお祭りへの参加
３．イベント等のお手伝い
４．地域の見守り、声かけ活動への参加
５．清掃、花植えなどの環境美化活動への参加
６．こどもとの交流活動
７．高齢者との交流活動
８．地域の困りごとを話し合う場
９．福祉について学ぶ講座、交流会の開催
10．得意なことを活かせる活動の参加
11．ＳＮＳやＬＩＮＥ等を活用したつながりづくり
12．その他（　　）
13．特になし

問 23 地域活動に参加しやすくなるには何が必要と思いますか。（○はいくつでも）

１．情報が分かりやすいこと
２．配慮があること
３．支援者が同行してくれること
４．短時間の参加ができること
５．身近な場所で開催されること
６．一緒に参加する仲間がいること
７．オンラインでの参加ができること
８．その他（　　）
９．わからない

■今後について

問 24 「障がいのある方の避難支援ハンドブック」に載せてほしい内容を自由にご記入ください。

問 25 災害時や地域での支え合いについて意見があれば自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。